

## 活性化モデル商店街の成功事例

商店街：足助中央商店街協同組合

### ●キャッチフレーズ

中馬なごやか市を活かした地域ブランドの創出

### ◎商店街の将来ビジョンの実績

- ・ 毎月開催している中馬なごやか市に合わせて町あるきイベントを実施し、足助地区のファン増加、リピーター増加に取り組んだ。
- ・ 地元の中学生在が企画から制作まで商品開発に携わり、空き店舗を活用し、学生商店街としてオリジナル商品の販売を行った。
- ・ 重要伝統的建造物群保存地区に選定された街並みを活かした商店街の活性化に力を入れた。
- ・ 学生を取り込んだ取組により、店主に対し地域に根づいた商店街としての位置付けを理解させることができ、また、個店の魅力向上により商店街全体に活力を与えることができた。

### ◎事業実績

○中馬なごやか市を活かした次世代の商品創出事業（26年度）

地元の学生を対象とした商品開発を実施した。学生がスズマン本舗のぬき味噌を利用して『味噌コロケ』を開発し、販売した。

○中馬なごやか市を活かした町あるき事業（27年度）

- ・ 町あるきイベントを開催し、集客を図った。
- ・ 『塩の道』の出発地である足助を活かし、塩にちなんだ商品開発を実施した。

### ◎事業の効果

歩行者通行量で見ると、25年度の7,669人と比較すると、26年度は10,788人、27年度は9,068人と増加しており、回遊性の向上、来街者の増加に繋がった。（27年度は、下水道工事による来街者の減少を、なごやか市とこれに合わせたイベントにより最小限に食い止めることができた。）



（中馬なごやか市）